

年度 2007 学期 後期	曜日・校時	火 2	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	総合英語 Comprehensive English					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	Lf	科目分類	外国語科目(英語)			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり / 研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 火曜日3校時						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 新旧さまざまな、個性豊かなイギリスの人々について書かれた英文を通読し、イギリスの文化・歴史・文学・国民に関する知識を得、教養を深める。多方面における教養を身に付けておくことが、教育学部の学生にとっては重要です。総合的な英語全般の能力について、復習し、さらには向上させる。特に、文法とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。また、TOEIC 形式の設問を行い、実用的な英語の運用に対する意欲を高める。 授業方法: 各自予習を行ってきた上で、英文を精読し、内容を正確に把握できるように、構文や文法に留意して読解の方法や技術を指導します。文法の復習を行い、基本からの定着を図る。Exerciseを解き、詳細に解説を行う。TOEIC形式の設問により、試験の対策をする。イギリスの事物については、様々な資料等を用いて紹介する。 授業到達目標: イギリスの文化・歴史・文学・国民に関する知識を深め、理解することができる。また、興味を持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。英文法の基本を確固たるものにする。総合的な英語力の養成をねらい、聞き取って理解すること、語彙力の強化、英会話の表現力を高めること、英作文ができる、という能力を伸ばす。TOEIC テストにおいて、400 点以上を取ることができる。						
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) テキストの英文を精読し、内容を正確に把握しているかを確認します。読解の方法と技術を指導します。構文や文法について詳細な説明を行います。語彙を増やすべく、英単語の指導をします。CD の文を聞き取る際に、リスニングの仕方を解説します。簡単な英会話のダイアログを覚え、有用な英語で言いたい事を表現します。会話文の作り方と併せて、英作文を指導します。さらに、扱われている英国人の説明を行い、関連する資料を通して、イギリスの文化・歴史・文学等に親しみます。これらの活動を通して、総合的な英語力を養い、伸ばしていきます。						
第1回	Unit 1	David Beckham	名詞・代名詞			
第2回	Unit 2	Tony Blair	冠詞			
第3回	Unit 3	Paul McCartney	to 不定詞			
第4回	Unit 4	Mick Jagger	動名詞			
第5回	Unit 5	Review	復習・イギリス人の考え方			
第6回	Unit 6	Henry	動詞・助動詞			
第7回	Unit 7	Queen Victoria	過去時制			
第8回	Unit 8	James Watt	完了時制			
第9回	Unit 9	Daniel Radcliffe	現在時制			
第10回	Unit 10	Review	復習・イギリスの歴史			
第11回	Unit 11	Hugh Grant	進行形			
第12回	Unit 12	Christopher Wren	未来時制			
第13回	Unit 13	J. K. Rowling	受動態			
第14回	Unit 14	William Shakespeare	形容詞・副詞			
第15回	Unit 15	Review	復習・ロンドン・ウォーキングツアー			
第15回	定期試験					
各自で目標を定め、現在よりも向上することを目指しましょう。TOEIC テストにも意欲的に挑戦して下さい。第1回の授業で、TOEIC テストの紹介と説明を行います。 また、教育学部で学ぶにあたり、各方面においての教養を身に付けておきましょう。						
キーワード	文法 / パラグラフ・リーディング / 英国の人物と文化と歴史 / TOEIC テスト					
教科書・教材・参考書	Famous Britons, Past and Present 文法とパラグラフ・リーディングで学ぶイギリスのヒーロー (Terry O'Brien 他著 : 南雲堂) 英和辞書を必携すること。					
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講態度を非常に重視します。					
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。 授業には、必ず予習をして臨みましょう。					
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	英語の読解力を養い、文法を復習し、教養を身に付ける。 TOEIC テストの対策を行う。					
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。 予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴んでおきます。					